



美田むねあき

み た

発行：埼玉県議会自由民主党議員団
美田むねあき県政事務所 三郷市采女1-91
TEL：048-951-5826
FAX：048-951-5926



埼玉県議会議員 美田 宗亮

今年度の所属委員会 警察危機管理防災常任委員会
公社事業対策特別委員会

県議会
2月
定例会

生産性革命人づくり革命を 推し進める施策展開へ!

今回の2月定例会は1兆8,657億6,000万円の平成30年度当初予算等を審議しました。
特徴のひとつとしては、急激に進む高齢化と生産年齢人口の減少という課題に対してAIやIoT、ロボットなどを製造業や医療など様々な分野で取り入れた施策を展開しているところです。それ以外にもシニアの活躍、女性の活躍、ラグビーワールドカップ並びにオリンピック・パラリンピックの成功など重要施策にも継続して取り組んでいます。
私が12月に一般質問した教員の長時間労働への対応も予算措置がなされました。
私たち自民党県議団は生産性の向上や人材への投資など、これからの日本社会の安定的発展に資する様々な施策を提言していきます。

12月議会で質問した教員の長時間労働対策予算化が実現!

学校の働き方改革を推進(教育局)

- 拡充 外部人材の活用.....約8,700万円
 - 新スクール・サポート・スタッフの活用による小・中学校の教員の事務負担軽減(約8,300万円)
 - 部活動指導員の活用による中学校の運動部活動の負担軽減(約400万円)

業務の改善・効率化.....約3,300万円

- 校務支援システムによる校務の効率化
- モデル市町村における業務改善の実践研究

新規 適正な勤務管理と意識改革のための取り組み...約500万円

- 勤務管理システム導入(タイムカード)による県立学校教職員の適正な勤務管理、管理職を対象とした負担軽減啓発研修会の実施

2月定例会で自民党県議団が提案

県犯罪被害者等支援条例を制定

思いがけず被害に遭った犯罪被害者やその家族は、直接的な被害に加え精神的な問題や経済的な問題、居住場所や雇用などの問題など、さまざまな問題に直面します。犯罪被害者が再び平穏な生活を営むことができるようにするためには、社会全体がその立場に寄り添った支援を途切れなく行っていく必要があります。そこで自民党議員団では様々な施策を体系的に推進するための核となる条例を2月定例会で提案。多くの賛成を得て成立させることができました。



自由民主党議員団「犯罪被害者救済に関するプロジェクトチーム」の協議風景。

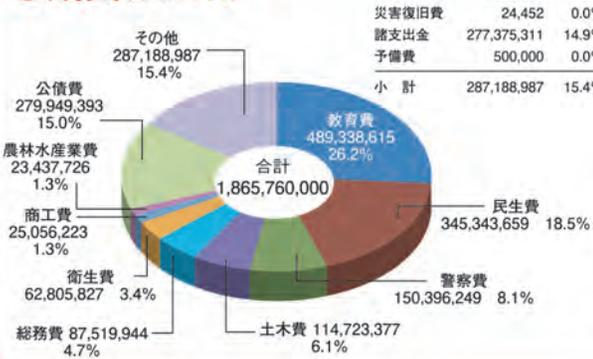


平29年度2月補正予算(国補正分) 市内の主な事業箇所

路線名等	事業概要等
① 第二大場川	河川事業《掘削工4,000m ³ 、用地補償》

平成30年度一般会計(当初)予算

歳出(単位:千円)



平成30年度当初予算 市内の主な事業箇所

箇所名等	事業概要等
① (仮称)三郷流山橋(越谷流山線)	道路改築(L=1,055m、W=13.0(27.0)m)
② 小谷堀橋(越谷流山線)	橋りょう整備(L=200m、W=6.0(12.0)m)
③ (仮称)三郷流山橋(越谷流山線)	改築事業(L=1,055m、W=13.0(27.0)m)
④ 小谷堀橋(越谷流山線)	橋りょう架換(L=200m、W=6.0(12.0)m)
⑤ 三郷橋(上笹塚谷口線)	橋りょう架換(L=90m、W=11.0(14.0)m)
⑥ 三郷松伏線(鹿野)	舗装道整備《切削オーバーレイW=6.4m、L=800m》
⑦ 三郷松伏線(早稲田)	舗装道整備《切削オーバーレイW=7m、L=500m》
⑧ 草加流山線	舗装道整備《切削オーバーレイW=6.5m、L=420m》
⑨ 三郷流山線	歩道整備
⑩ 流山橋(草加流山線)	橋りょう修繕(断面補修)
⑪ 大場川	河川改修《築堤工、護岸工》
⑫ 第二大場川	河川改修《河道掘削》
⑬ 第二大場川	河川事業《護岸工、測量設計、用地補償、橋梁架換負担金》
⑭ 大場川(大場川下流排水機場)	河川施設震災対策《耐震照査、耐震詳細設計》
⑮ 大場川(大場川上流排水機場)	河川施設震災対策《耐震照査、耐震詳細設計》
⑯ みざと公園	公園等施設整備《園路舗装更新、高浦田木道更新》

注目すべき主な施策



スマート社会へのシフトと地域活性化

AI・ロボットなど先端技術活用による生産性向上

- 新規** AI活用による産業の高度化支援……………約1億1,500万円
 - 新 AIを活用した工場内故障診断システムの開発
 - 新 AIを活用した医療機器等の開発・実証の支援
 - 新 AI活用で産業をリードする若手技術者の育成支援
- 新規** 中小企業へのAI活用支援……………約1,100万円

新たな産業の育成と企業誘致の推進

- 拡充** 農大跡地への成長産業の集積……………約99億7,100万円
 - 農大跡地(約39.2ha)に先端産業・次世代産業等を集積するため、まず北側産業用地(13.6ha)へ成長産業を誘致
 - LPWA通信を活かしたIoT化の促進をはじめ地域未来投資促進法や国家戦略特別区域法の活用を検討
- 拡充** 新たな産業団地の整備……………約108億3,700万円
 - 新 既存工業団地の拡張によってスピード整備(行田富士見地区、嵐山花見台地区)
 - 新 企業ニーズを整備設計に反映させた「エントリー&オーダーメイド」団地を埼玉のスタンダードに(松伏・田島地区、川越増形地区)

埼玉版スマート農業の推進

- 新規** AI・ドローン等を活用した農業の生産性向上支援……………約1,300万円
 - 新 AIの活用＝ナシの摘果対象を表示するメガネを開発し、経験の少ない人でも熟練者と同様に摘果できる仕組みを実現
 - 新 ドローンの活用＝ドローンでは場内を撮影し、生育状況をマップ化して最適な栽培管理を実現
 - 新 ビッグデータの活用＝精度の高い病害虫発生予測ツールを開発し、予測情報を県内生産者へ提供



行政のスマート化の推進

- 新規** 業務へのAI導入……………約8,000万円
- 新規** ビッグデータを活用したプッシュ型サービスの提供……………約3,300万円
- 新規** AIを活用した救急相談の拡充……………約5,000万円
 - 新 チャット形式の救急相談機能を整備
- 新規** 高度分析システムの整備(県警察本部)……………約4億4,700万円
 - 新 被疑者の早期特定・検挙及び抑止力の強化を図るため、高度分析システムを整備

商店街活性化を強化

- 新規** NEXT商店街プロジェクトの推進……………約7,900万円
 - 新 「チーム寄添者(よそもの)」による商店街の応援体制を構築し、ビジョンにもとづく集中支援を実施。コンペによる空き店舗リノベーション等の活用アイデアの普及を図る

国際的イベント開催に向け埼玉の魅力PR

ラグビーW杯・オリンピックで地域活性化

- 拡充** ラグビーワールドカップ2019……………約53億6,100万円
 - 施設環境等の整備(熊谷ラグビー場の整備、熊谷スポーツ文化公園の整備、会場周辺道路の整備)
 - 気運醸成(カウントダウンイベント・新熊谷ラグビー場こけら落とし等開催、メディア告知やSNSによる情報発信、ボランティアの募集など)
- 拡充** 東京2020オリンピック・パラリンピック……………約27億4,200万円
 - 施設環境等の整備(さいたまスーパーアリーナの整備、埼玉スタジアム2002の整備)
 - 気運醸成(2年前イベントの開催、子ども向け競技体験キャラバンの実施、埼玉WABISABI大祭典2018等の開催、ボランティアの募集、ホームステイ運営体制の整備など)



誰もがチャンスを手に行ける埼玉へ

結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実

- 拡充** ウェルカムベイベープロジェクトの推進……………約1億7,500万円
 - 夫婦そろっての妊婦検査に係る費用の助成
 - 早期妊婦治療を促す上乗せ助成 新 不育症に係る検査費用の助成等
- 新規** 小児・AYA世代における妊孕性の温存支援……………約2,100万円
- 拡充** 保育所持機児童対策の推進……………約29億7,200万円
 - 認可保育所、認定こども園、小規模保育事業所等の整備推進
 - 7500人の保育サービス受け入れ枠を拡大
- 拡充** 保育士の人材確保の促進……………約2億7,600万円
 - 新 保育士・保育所支援センターの機能強化による多様な保育人材の掘り起こし
 - 新 人材確保等に関するアドバイザーによる働き方改革の推進
- 新規** 希望時期入園制度の導入……………約3,700万円
 - 新 保護者が希望する時期に保育所等に入園できる仕組みを設ける市町村に対する助成
- 拡充** 私立学校における教育費負担軽減のための助成……………約125億2,700万円
 - 新 県内私立高校生と大学生等を3人以上抱える多子世帯への授業料補助を年約720万円未満世帯まで拡大

子どもの貧困解決めざす～貧困の連鎖解消へ～

- 拡充** 生活困窮世帯及び生活保護世帯の子どもへの学習指導等……………約1億7,600万円
 - 新 小学校3年生以上に対して学習支援や生活支援を実施
 - 新 県が設置する全ての中学生教室に高校生教室を併設
- 新規** 県営住宅を活用した子どもの居場所づくり……………約2,400万円
 - 新 団地自治会による遊び場やNPO等による食事提供の場など子育て支援に活用するため、県営住宅の集会所を改修
- 新規** 子どもの貧困に関する実態調査の実施……………約1,000万円

シングルマザー支援の推進～貧困の連鎖解消へ～

- 新規** シングルマザーなど女性の就業支援……………約3,200万円
 - 新 緊急に就業を希望するシングルマザーを対象に個別相談窓口を設置等
- 拡充** ひとり親家庭に対する徹底支援……………約1億3,100万円
 - ひとり親に対する就業相談や経済的支援の実施 新 資格取得支援講座等の実施

シニアの活躍を応援

- 拡充** 「働くシニア 応援プロジェクト」の推進……………約3億9,900万円
 - 新 現役・元サラリーマンへの集中的なアプローチを展開 ●企業における「活躍の場」の拡大 ●シニアへの就業支援等
- 拡充** アクティブシニアの「地域デビュー」の推進……………約7,600万円
 - 新 シニアの関心を惹きつける戦略的なPRの実施等

自民党が提案! 埼玉県では4月1日から 自転車保険の加入が義務になりました!

埼玉県内で自転車を利用する場合に、自転車損害保険等への加入が4月1日から義務になりました。これは、自転車事故を起こした際の被害者救済や、加害者の経済的負担の軽減を図るためです。

自転車の安全な利用の促進に関する条例 一部改正の概要

- 自転車損害保険等への加入の義務付け(対象)
 - ①自転車利用者(利用者が未成年の場合は保護者)
 - ②事業活動に自転車を利用する事業者
 - ③自転車の貸付業者

■自転車保険に関する情報提供

- ①自転車販売業者
 - *自転車販売時に購入者に対し、保険加入の有無の確認に努める。
 - *加入確認ができない場合は、保険に関する情報提供に努める。
- ②学校
 - *自転車通学者に対し、保険加入の有無の確認に努める。
 - *加入確認ができない場合は、保険に関する情報提供に努める。
- ③県
 - *関係団体と連携し、自転車損害保険に関する情報提供等を行う。

